

# 2024度版 第28回 図書館を使った調べる学習コンクール® 地域コンクール 運営ガイド

はじめに	地域コンクール募集の目的および実施の概要	2
第1章	図書館を使った調べる学習コンクールの仕組み	2
第2章	地域コンクール開催手順	
1	年間スケジュールの作成	3
2	募集要項の作成	4
3	作品募集の働きかけ	6
4	作品の受付と保管	10
5	審査員の依頼	10
6	審査会の開催	11
7	表彰式	13
8	地域コンクール入選作品の複製・公開について	14
第3章	全国コンクールへの推薦	
1	全国コンクール審査について	15
2	推薦作品数	15
3	推薦作品決定後	
4	推薦作品の発送	
第4章	事業報告	16
第5章	全国コンクールの審査結果発表後	
1	審査結果の発表	17
2	「地域コンクール」推薦作品の結果通知・表彰・ 賞状送付・作品返却	17
3	全国コンクール入賞作品の複製・公開について	18
第6章	その他	
1	個人情報の扱いについて	19
2	調べコン特設サイト内 地域コンクール開催担当者管理画面について	20

※第3章 3, 4は  
後日別途公開

※この冊子は、第28回地域コンクールの参加団体向けです。  
参加方法については「地域コンクール開催の募集」をご覧ください。

※本文中に例として提示している書類は、地域コン特設サイト（<https://concourstoshokan.or.jp/>）からダウンロードしてお使いいただけます。

# はじめに 地域コンクール募集の目的および実施の概要

図書館振興財団（以下、当財団）は、図書館の利用促進と調べる学習の普及を目的に「図書館を使った調べる学習コンクール」を主催しています。学校教育・生涯学習の学習方法として有効な「図書館を使った調べる学習」を推進するために、一定の地域・住民等を募集対象とした「図書館を使った調べる学習コンクール」の「地域コンクール」を実施する団体を募集します。

各「地域コンクール」で審査いただいた後、応募数の一定比の上位作品を全国コンクールに推薦いただき、全国規模で審査・表彰（「全国コンクール」）をさせていただきます。

当財団では、地域一丸となった「地域コンクール」の実施により、郷土愛の醸成をはじめ地域づくりや地域の活性化につながる波及効果にも着目し、積極的に開催団体を募集いたします。

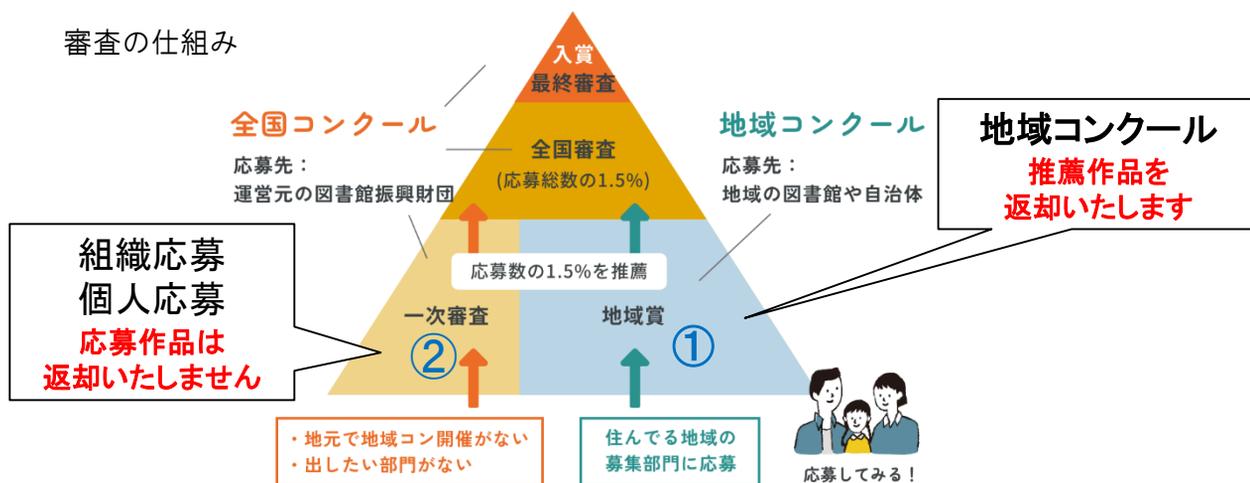


## 第1章 図書館を使った調べる学習コンクールの仕組み

### 全国コンクール応募の仕組み

- ①地域コンクールが開催されている市区町村にお住まい（または在学・在勤）の方
  - ◆ 最寄りの図書館や教育委員会等が開催する「地域コンクール」に応募します。
  - ◆ 設置部門以外の応募は②となります
- ②地域コンクールが開催されていない市区町村にお住まいの方
  - ◆ 各学校、各図書館など組織で「全国コンクール」に応募します（組織応募）
  - ◆ 個人で「全国コンクール」に応募します（個人応募）

### 審査の仕組み



### ■地域コンクール運営ご担当者様へお願い

下記の場合は、全国コンクールに応募することはできません。

- ◆ 各地域コンクールの締め切りに間に合わなかった作品
- ◆ 各地域コンクールで、推薦作品に選ばれなかった作品
- ◆ 他のコンクールに応募した作品

以上の注意点について、コンクール関係者へ周知してください。

当財団では審査の公平・公正を期すため、地域コンクールご担当の皆様と連携し、厳正な審査を目指してまいりたいと存じますので、ご協力をお願い致します。

## 第2章 地域コンクール開催手順

### 1、年間スケジュールの作成

コンクールの運営スケジュールおよび調べる学習推進事業等の計画を検討します。

以後決定したスケジュールに沿って、広報、募集、作品返却、表彰までの事務作業を行っていきます。

月	地域コンクール（例）	運営担当事務	図書館振興財団 全国コンクール（予定）
前年度	・関係者（事務局、図書館、学校等）で、事業計画を立案		
4月	・募集要項の作成	地域コンクール開催申請の手続き ・アカウント作成	・前年度 結果報告送付 ・全国募集要項 公開（HP）
5月	・募集ポスター、チラシの作成	・コンクール開催計画入力、申請処理	31日 「地域コンクール開催申込書」受付・承認
6月	・ポスター、チラシを配布（対象：学校、図書館等）		初旬 全国コンクールポスター・募集要項発送
	・各団体・組織に審査員の派遣を依頼		
7～8月	・図書館で「調べる学習講座」を開催 ・受賞作品の展示会を開催		
9月	応募作品の受付		9日 作品募集開始
10月	初旬：一次審査会開催 中旬：最終審査会開催		7日 作品受付期限
	審査結果の発表：入賞者への通知・表彰式の連絡・氏名等確認		
	賞状の作成・副賞準備		26,27日 一次審査会
11月	表彰式開催		
		～7日 地域コンクール「作品集計報告」・「推薦作品」データ登録	7日 「作品集計報告」・「推薦作品」集計
		★～15日必着 応募カードを貼付し、全国コンクールへ推薦作品を送付	15日 推薦作品受付期限
12月	中旬 全国コンクールの参加賞を応募者へ送付	★1日必着 地域コンクール実施報告書を入力および資料提出	11月29日～ 12月1日全国審査会 1日 実施報告書入力・資料提出期限 上旬～中旬 参加賞を地域コンクール事務局へ送付
			26日 最終審査会
1月	関係者へ報告		16日 審査結果発表（HP上）
2月	中～下旬（学校を経由するなど）応募者へ作品を返却し賞状、副賞を授与する		中旬 推薦作品返却（入賞作品除く）
3月	・地域コンクール入選作品の複製公開		8日 表彰式 前年度入賞作品の返却（本人宛）

全国コンクール  
前頁 下図②

## 第2章 地域コンクール開催手順

### 2、募集要項の作成

事業計画に沿って、「応募方法」、「応募先」など作品募集要項を決めます。

#### [募集要項 例]

主催	〇〇市教育委員会	<p>※図書館振興財団の後援名義をお使いいただけます。正式名称を明記してください</p> <p>◆外部団体(地元企業、商工会議所、ロータリークラブ、地元新聞社、ケーブルテレビ局、子どもの育成に関わる企業など)の後援を得ることで「地域に根差した地域全体の取り組み」としてコンクールを盛り上げることができます</p> <p>◆後援団体からは、賞の授与や副賞、事業資金の提供などが受けられる場合があります</p> <p>*募集する部は地域で決めていただくことができます</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0; text-align: center;"> <b>子どもと大人の部とは</b> </div> <p>親子など、子どもと大人のグループが、共通のテーマで調べ、ともに意見しあい、調べを展開した作品を募集する部です。それぞれの視点で作品を書きます。</p> <p>子どもが主体となって取り組み、大人はその補助に徹した作品の場合は、子どもの作品として、学年に該当する部にご応募ください。</p> <p>*校内選考を行う場合:校内で選考対象となった作品は、全国の参加賞を進呈します。「作品集計報告」でご報告ください</p>
後援	〇〇ロータリークラブ◆ 公益財団法人図書館振興財団※	
目的	図書館の利用促進と調べる学習の普及 図書館資料をはじめ様々な情報を活用した調べる学習を通じ、児童生徒が自ら考え・判断し・表現する、楽しく充実した学びを実現する。また、その活動のなかで〇〇市の公共・学校図書館の有用さを理解し、将来に向けて豊かな学習観・読書観を育む。応募された作品を評価することで、図書館活用の指導力を高める。	
作品募集期間	2024年9月1日～9月30日	
募集対象と募集部門	<p><b>【募集対象】</b> 〇〇市内在住・在学の小・中・高等学校の児童・生徒 〇〇市内在住・在勤・在学の成人(社会人・大学生など)</p> <p><b>【募集部門】*</b> 小学生の部(低学年/中学年/高学年) 中学生の部 高校生の部 大人の部 子どもと大人の部(子どもは小学1年生以上)</p>	
表彰式	2024年11月3日(予定)	
授与する賞	市長賞 (小学生、中学生、高校生) 3名 教育長賞(小学生、中学生、高校生) 3名 奨励賞 (小学生、中学生、高校生) 10名	
副賞	図書カード	
参加賞	応募者全員に参加賞を贈呈*	
応募方法	1作品につき、〇枚の「応募カード」を添えて、〇〇図書館へ持参または郵送してください。 ・各小学校は、連絡便で中央図書館に配送してください*	

## 第2章 地域コンクール開催手順

<p>募集する作品</p>	<p>・公共図書館や学校図書館を使って調べ、まとめた作品          ・身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなど調べるテーマは自由です          ・「見る」「聞く」などの体験や実地調査なども取り入れながら、どのように調べていったのか、その結果何がわかったかをまとめた作品  <u>※写真、イラスト、文章等を作品に引用する場合は、出典を明記するなどの引用の要件に沿ってください</u>  <u>※他者の個人情報を記載する際は、作品への掲載許可を得てください</u>          ・他のコンクールとの二重応募はできません          ※論理展開、考察、結果等がほぼ同様である別作品も二重応募とみなされます  <u>※継続したテーマで応募する場合は、過去の自分の作品も別作品と考えて引用し、「参考・引用文献リスト」に掲載してください</u>          ・応募者自身のオリジナルで未発表の作品に限ります(学校に宿題として提出した作品は応募できます)  <u>※2024年度に完成した作品を2024年度の学年で応募してください。</u>          ・大学等の専門機関における研究成果発表等は募集対象外          ・日本語で書いた作品に限る          ・生成AIによる生成物をそのまま作品として応募することはできません</p>	<p>下線部は2024年度追加・更新内容です</p>
<p>作品形態</p>	<p>【サイズ】 小学生 B4サイズまで(八つ切り画用紙サイズも可)          中学生 A4サイズまで          ※模造紙にまとめた作品は必ず規定サイズに折りたたむ(掲示用や授業発表用等で作成した場合に限る)</p> <p>【ページ数】 1ページ以上50ページ以内          (表紙、目次、資料集、参考・引用文献一覧は除く)          ・PC出力紙での応募も可。文字サイズ11ポイント以上、1ページの文字数は1000文字を目安として読みやすさに配慮してください</p> <p>・参考・引用文献一覧          調べたときに利用した資料の情報と図書館名のリストを必ず巻末につける</p>	<p>全国への推薦作品は、全国コンクール募集要項に沿った作品をご選出ください</p>
<p>応募作品の扱いについて</p>	<p>・上位の作品は、(公財)図書館振興財団が主催する全国コンクールの全国審査に推薦される          ・全国コンクールで入賞した作品の著作権は、(公財)図書館振興財団に帰属する          ・全国コンクール入選・入賞者は、氏名(グループ名)・学校名・学年・作品名・都道府県名・地域コンクール名が公表される          ・当地域コンクールに応募された作品は返却する</p>	<p>次ページの文面通りに募集要項・ポスターに必ず明記してください</p>
<p>応募先 (作品受付担当)</p>	<p>〇〇市立図書館 担当 ××××          〒 〇〇県〇〇市 番地 号          電話: FAX:          メールアドレス:</p>	

**募集要項が決まりましたらご提出ください**

当財団のHPを通じ、地域コンクール開催地を周知し、作品応募を呼びかけます

## 第2章 地域コンクール開催手順

### 3、作品募集の働きかけ

#### (1) 作品募集チラシ、ポスターの作成・配布

募集要項に沿って、作品募集チラシ・ポスターを作成し、自治体内の学校や公共図書館へ配布・掲示し、作品募集を広報します。

- ・作品募集チラシには「応募カード」を掲載し、応募方法なども明記します。

#### 要記載事項

コンクールのチラシ・ポスターには以下の①～⑥を掲載してください

##### 【注意事項】

①応募者自身のオリジナルで未発表の作品に限ります（学校に宿題として提出した作品は応募できません）

②他のコンクールとの二重応募はできません。

※論理展開、考察、結果等がほぼ同様である別作品も二重応募とみなされます

※2024年度に作成、完成した作品を2024年度の学年で応募してください。

##### 【応募作品の扱い】

③上位の作品は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールの全国審査に推薦されます。

④全国コンクールで入賞した作品の著作権は、公益財団法人図書館振興財団に帰属します。

⑤全国コンクール入賞・入選者の氏名（グループ名）・学校名・学年・作品名・都道府県名・地域コンクール名が公表されます。

##### 【地域コンクールであることの表示】

⑥「図書館を使った調べる学習コンクール」の文字、もしくはコンクールシンボルマークを記載してください。両方でも結構です。

※従来のキャラクター「シラベル」（ほか）にかわって、シンボルマークを作成しました

※引き続き「シラベル」（ほか）を利用する際は、「仕様書」に沿ってください。また、2025年度開催時には、シンボルマークへの切り替えをお願いいたします。「仕様書」が必要な場合はご連絡ください。

##### 【地域コンクールであることの表示】

#### “図書館を使った調べる学習コンクール”名称を表示する場合

コンクール名称の使用において、書体の指定はありません。

例1 ○○市図書館を使った調べる学習コンクール

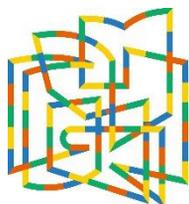
例2 ○○市図書館を使った  
調べる学習コンクール

## 第2章 地域コンクール開催手順

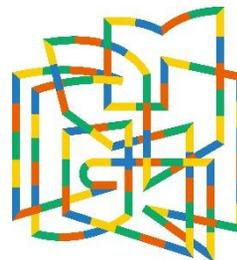
### 3、作品募集の働きかけ

シンボルマークを表示する場合

例



図書館を使った  
調べる学習  
コンクール



\*調べコン特設サイト 調べコンを知る/調べコンってなに？  
からデータおよびロゴマニュアルをダウンロードしてお使いください。

※コンクール名称は商標登録されています。なお、地域コンクールによる名称利用は承認しております。  
※シンボルマークは商標登録申請中です。

[地域コンクール応募カード 例]

(参考書式1)

第 回 ○○市 図書館を使った調べる学習コンクール 応募カード

学 校 名	小学校／中学校／高等学校
応募者氏名	( 年 生 )
連絡先住所 (学校/自宅)	〒 ( ) - ( )
	担当の先生のお名前
	TEL ( ) - ( ) - ( )
	FAX ( ) - ( ) - ( )

## 第2章 地域コンクール開催手順

### 3、作品募集の働きかけ

#### (2) 校内選考の働きかけ

##### 校内選考とは

当コンクールの「審査基準」に沿って各学校にて作品を選考していただき、良い作品のみを出品作品として地域コンクール審査会にかけます。

応募数が1500作品を越え、「一次審査会」での絞り込みも困難になってきた場合に有効です

※各学年2作品など、予め選出する作品数を設ける方法もあります

※学校の負担増にならないよう、事前に調整を行ってください

コンクール審査会送付作品リスト／校内選考作品数報告			
審査会に送る作品として、各学年から「2点」を目安に選んでください			
学校名		小学校／中学校	
ご担当者氏名		(教諭・学校司書・その他)	
送付作品		点 校内に残る作品数： 点	
学年	作品名	作者氏名	校内選考を行った 学年別作品数
1年			
2年			
3年			
4年			
5年			
6年			
校内選考を行った総作品数 参加賞必要数合計※右欄と異なる場合 ( )			

(参考書式)

● 校内選考の対象となった作品数(学年別)は「応募作品数の報告」で必要になります

##### 全国コンクール参加賞について

● 作品を作られた方  
全員分を進呈いたします

● 一人で複数作品を作った場合は、作品数分を送付いたします

### 3、作品募集の働きかけ

#### (3) 広報・調べる学習の推進（例）

- ・ 校長会、図書部会、保護者会など学校関係者・図書館関係者の集まる会合に参加し、コンクールの趣旨を説明し賛同・作品応募を呼びかける。
  - ・ 自治体の広報誌やホームページ等のメディアを通じ、広く告知を行う。
  - ・ 入賞作品の展示会を開催し、作品の実例を見ていただき参加を促す。
  - ・ 図書館で全国コンクール入賞作品（複製）の展示を行う。
- \* メディア掲載された情報を図書館振興財団でも紹介させていただきます。お知らせください。

#### (4) 調べる学習講座、研修会 等の開催

- ・ 図書館利用者（子ども・大人）を対象にした、調べる学習の実践方法を学ぶ講座（実習形式、講義形式）を開催する。
  - ・ 教諭・司書教諭・学校司書・公共図書館スタッフ等を対象にした、調べる学習の理論を学ぶ講座・研修会（講義形式）を開催する。
  - ・ 教諭・司書教諭・学校司書・公共図書館スタッフ等を対象にした、調べる学習の指導法を学ぶ講座・研修会（実習形式、講義形式）を開催する。
  - ・ 地域の施設や企業等と連携して、調べる学習のテーマ探しの参考となる講座を開催する。
  - ・ 調べる学習相談会を開催し、進め方等について個別相談に応じる。
- \* 「図書館を使った調べる学習」の講師紹介や企画相談を受付けております。  
調べコン特設サイト 開催をお考えの方へ/「調べる学習」に関する講師紹介依頼フォームからお申し込みください  
<https://concours.toshokan.or.jp/region-contest/request>

### 4、作品の受付と保管

作品は、応募者による作品持参、学校や図書館間の連絡便などを活用した回収、宅配便による送付等の方法で一か所に集め、受付処理と保管を行います。

#### ◆受付

所定の「応募カード」が添付されていることを確認します。

校内選考を実施している場合は、「送付作品リスト」のほか、校内に残った作品数も確認します。

#### ◆保管・管理

作品は、施錠できる部屋などで、審査しやすいように学年別に箱に入れるなどして準備し、審査会まで保管します。

「応募カード」は個人情報が含まれます。

※作品の保管中、「作品」「応募カード」の紛失に十分ご注意ください。



### 5、審査員の依頼

募集する部に合わせて、学校関係組織や図書館関係者などに審査員を依頼します。  
市（区町村）長や教育長を審査員長とする地域コンクールもあります

## 第2章 地域コンクール開催手順

### 6、審査会の開催

「審査の手引き」をご参照ください。

#### (1) 応募作品数に応じた審査の進め方

##### 【応募作品数が1,000近い場合】

審査員の人数にもよりますが、1回の審査会で入賞作品を選考するのは難しくなります。審査会を二段階に分けて、「一次審査会」を行い、作品を絞り込んでおくことをおすすめします。

(「校内選考」もひとつの方法です) → 8頁参照

##### 【応募作品数が1,500を越え、「一次審査会」での絞り込みも困難になってきた場合】

募集時に学校へ「校内選考」の実施をよびかけます。  
作品が出品されてからでは間に合わないのので、早めに調整・連絡することが必要です。

#### (2) 審査会の準備

あらかじめ、事務局で「入選作品数」および「全国コンクール推薦作品数」を各部に割り振ります。

##### 一次審査会の準備

- ① 審査会場の手配
- ② 作品数(学年別)の把握
- ③ 一次審査通過作品数の目安を決める
- ④ 審査基準、審査用紙、筆記用具の用意

##### 最終審査会の準備

- ① 審査会場の手配
- ② 「最終審査対象作品リスト」を作成
- ③ 入賞数の確認
- ④ 全国コンクール推薦作品数と決定手順の確認
- ⑤ 審査基準、審査用紙、筆記用具の用意
- ⑥ 賞名の札を作成



付箋や筆記具、クリップなどがあると便利です



[賞札の例]

### 6、審査会の開催

#### (3) 審査会 審査の流れ（下枠内参照）

##### ① 個人審査

担当の部に分かれ、各人が作品を読み相対評価で審査する

例1) 良い作品に付箋を貼る方法（審査員別色分けが便利です）

- ・ 一目で分かりやすく、手間がかかりません。
- ・ 他の審査員の評価が見えるため、注意が必要です

例2) 評価の高い順に順位をつけ、集計する方法

- ・ 各審査員の評価を記録に残せます
- ・ 時間がかかります。作品数が多い場合には向きません



##### ② 部門審査

個人審査の結果をまとめ、部ごとに協議をした結果をもとに、部で「入選枠」に応じた「上位候補作品」を選出します。

（部門審査のみで賞が決定する場合があります）



##### ③ 全体審査

各部から「上位候補作品」を紹介し、入選作品を決定します。

その中から「全国コンクールへの推薦作品」を全体の協議で決めます。



※地域コンクール内での入選作品数（賞の数）、賞の名称は自由にお決めいただけます

※全国コンクールへの推薦数は第3章（1）をご参照ください。

推薦作品の上限を超えて推薦することはできません

→15頁参照



推薦作品選出について

学年ごとの応募作品数の割合などを参考に、どの部を優先的に推薦するか、順位を事務的に決めておく方法もあります。その場合も「ただし、審査員の総意に基づくときはその限りではない」など、審査員の意見を反映できるようにしておくことが望ましいです。

## 第2章 地域コンクール開催手順

### 7、表彰式

(1) 事前準備～物品・表彰状・副賞～

#### 【賞状】

個人名・学校名・学年等、正しい表記を確認したうえで作成します。

#### 【副賞】

「副賞」は、「図書カード」を差し上げているケースが多いようです(1,000円～3,000円程度)。そのほか、副賞として後援企業のノベルティグッズなどが提供され、受賞者に好評を得ている事例もあります。

#### 【物品】

賞状、副賞、入賞作品のほかに、以下のものを準備することをおすすめします。

- 賞状をのせる黒盆(図書館振興財団から貸出可能です。ご相談ください)
- 来賓や入賞者用の花の徽章(会場が華やかになります)



(2) 表彰式

表彰式と併せた取り組みとして、「入賞作品の展示会」を行っているケースなどもあります。

式次第(例)

開会挨拶  
審査員長講評  
表彰状授与  
受賞者挨拶  
閉会



### 8、地域コンクール 入選作品の複製・公開について

作品は「個人的な調査研究の成果」であり、図書館が扱う「公表された著作物」とは異なります。複製・公開を行う場合は、以下の点に留意してください。

- 作者本人に、作品の複製（編集する場合があることを含む）・公開に対して了解を得てください。
- 複製冊子の作成部数や公開方法によって、作品に含まれる第三者の情報等について、利用申請等の処理や作品への編集が必要な場合があります。

#### 公開方法の一例

- ・メディアからの取材記事に作品の表紙画像を掲載する。
- ・複製冊子を作成し地域の学校へ配布したり図書館で展示する。
- ・図書館のホームページで作品の全ページをWEB公開する。

#### 利用申請等の処理が必要な一例

- ・博物館、美術館、寺社等の所蔵物の写真の掲載箇所がある。
- ・新聞記事のコピーの掲載箇所がある。

#### 作品への編集の一例

- ・第三者の著作物を引用した箇所に出典を補記する。
- ・個人情報に対する保護処理（掲載箇所のマスキング、画像のぼかし等）

（詳細は事務局にご相談ください）

## 第3章 全国コンクールへの推薦

### 1、全国コンクール審査について

- ・ 全国コンクールは別途、一次審査を行います。その通過作品と地域コンクール推薦作品が全国審査会（12月上旬）で合流します。
- ・ 出品いただいた作品は全国審査会で審査いたします。
- ・ 推薦作品は11月15日まで必着（送料は地域コンクール負担）で送付してください。
- ・ 全国審査会を経て最終審査会で入賞作品が決定します。
- ・ 地域コンクール入賞作品決定後は公平を期すため、作品への加筆・修正はお控え下さい。

### 2、推薦作品数

- ・ 地域コンクールで募集するA、Bそれぞれの応募作品数合計に応じて、A、Bそれぞれから全国コンクールに推薦してください。
- ・ 地域コンクールから全国コンクールに推薦いただける作品数の上限は、以下の通りです。

#### 推薦作品数 算出方法

		部	推薦の上限数
A	小学生の部	低学年（1・2年生）	Aの応募作品数合計の1.5%以内の作品を推薦できます。 $A\text{応募作品数合計} \times 0.015 = \text{推薦上限数①}$ （小数点以下切上げ）
		中学年（3・4年生）	
		高学年（5・6年生）	
	中学生の部		※ Aの部の間で推薦作品数の調整可
	高校生の部		
B	大人の部		Bの応募作品数合計の1.5%以内の作品を推薦できます。 $B\text{応募作品数合計} \times 0.015 = \text{推薦上限数②}$ （小数点以下切上げ）
	子どもと大人の部		※ Bの部の間で推薦作品数の調整可

$$\text{推薦作品数} = \text{①} + \text{②}$$

#### 推薦の推進枠について

- ・ Aの推薦上限数① + Bの推薦上限数② = 「1」となる場合は、推進枠として1作品を追加して推薦していただけます。
- ・ Aのみ、もしくはBのみで設定している場合は、募集していない方を0として計算してください。  
例：（Aの合計41作品  $\times$  1.5% = 0.615）= 0.615  $\Rightarrow$  A「1」+B「0」 $\Rightarrow$  推進枠1作品を追加 $\Rightarrow$  計2作品

#### 注意事項

- ・ 推薦作品数の上限を超えて推薦することはできません。
- ・ 応募数は、今年度の作品数で計算してください。
- ・ 校内で審査対象となった作品も含めてください。
- ・ ABの片方の推薦を見合わせた場合も、AB間の振り替えはできません。
- ・ 地域コンクールでの入賞・入選作品数は独自にお決めいただけます。
- ・ 推薦の上限数「1.5%」の比率は、応募総数の増加により、今後変動する可能性があります。

## 第4章 事業報告

「地域コンクール実施報告書」を入力し、添付資料は提出してください。

- 提出期限：2024年12月1日（日）まで（必着）

①実施報告書データを地域コンクール開催担当者管理画面からご入力ください

②募集要項、ポスター、調べる学習ガイドなどの資料は各2部を期限必着で送付してください

- 期限内に提出された報告書は地域コンクールの賞の選考資料とさせていただきます。
- 提出後の事業については、年度内に更新をしてください。

**入賞：総務大臣賞** ※2024年4月現在 申請中

**図書館を使った調べる学習活動賞**

公共図書館、学校図書館を使った調べる学習の普及のために、優れた推進活動を行った地域コンクールを表彰します。その中で、特に、地域の活性化に寄与した(12②)地域コンクール1団体を「総務大臣賞」として表彰いたします(予定)。

## 第5章 全国コンクールの審査結果発表後

### 1、審査結果の発表

結果発表 2025年1月16日（木）13時

調べコン特設サイト(<https://concours.toshokan.or.jp/>)で発表します。

- ◆ 個人情報（氏名、学校名、学年）を公表します。
- ◆ HPはパソコンの文字表示制限により、旧字体や異体字については汎用的な漢字に置き換えて表示しています。表彰状は、可能な限り、お知らせいただいた表記で作成させていただきます。

### 2、「地域コンクール」推薦作品の結果通知・表彰・賞状送付・作品返却

	★ 入 賞	★ 入 選
賞名（作品）	文部科学大臣賞※ 観光庁長官賞 ※ 「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞※ 優秀賞	優良賞 奨励賞 佳作
賞名（地域コンクール主催者）	総務大臣賞※ ※2024年度申請中 図書館を使った調べる学習活動賞	
結果通知	当財団より、以下の方法で通知します 児童・生徒：学校を通じて本人へ 大人の方：地域コンクールを通じて本人へ 入賞書類 ①入賞通知 ②著作権譲渡に関する確認書類 （お願い文と「著作権譲渡契約証書」） ③氏名表記確認 ④表彰式の出欠等	当財団より地域コンクール運営担当者様宛て、2月中旬（作品返却時）に以下を送付します。 ◆ 優良賞、奨励賞 賞状 副賞（図書カードネットギフト） 作品 ◆ 佳作 賞状、作品
表彰式	東京都内で開催する表彰式・交流会に招待いたします。（感染症の状況に応じて、計画の縮小や、オンライン開催に変更する場合があります） <b>【授与するもの】</b> ◆ 文部科学大臣賞、観光庁長官賞、 「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞 賞状、表彰楯、 副賞（図書カードネットギフト） ◆ 優秀賞 表彰楯、副賞（図書カードネットギフト） ◆ 総務大臣賞、 図書館を使った調べる学習活動賞 賞状 副賞（賞金、又は図書カードネットギフト）	対象外です。
作品返却	受賞から1年間：当財団で保管 翌年2026年4月に受賞者本人へ直接返却 ※ご要望があれば一時返却も可能です。	2025年2月中旬頃に発送 ・図書館振興財団元払い ・地域コンクール返却ご担当者様宛
参加賞	参加賞は、12月中旬までに地域コンクール運営担当者様宛にお送りいたします。	

### 3、全国コンクール 入賞作品の複製・公開について

#### ①全国コンクールで入賞した作品の著作権について

- ・入賞作品（地域コンクール推薦作品を含む）の著作権は図書館振興財団に帰属します。
- ・当財団と、入賞者本人（未成年の場合は代理人）とは入賞書類「著作権譲渡契約証書」を交わし、作品の著作権（財産権）の譲渡を受けます。
- ※公開作品（複製冊子作成・WEB全頁公開）は、入賞作品のうち一部の数作品です。
- ※入選作品（優良賞、奨励賞、佳作）は対象外です。

#### ②全国コンクール入賞作品（公開作品）の冊子利用・閲覧・リンクについて

- ・当財団が複製した公開作品をWEB上で自由に閲覧していただけます。
- ※調べコン特設サイトURLを申請不要で自由にリンク設定していただけます。
- ・当財団が複製した公開作品を冊子でご利用いただけます。当財団へ「利用申請書」をご提出ください。

#### ③全国コンクール入賞作品の二次利用(地域コンクールが複製・WEB公開する場合)について

- ・地域コンクールの推薦作品が全国コンクールに入賞した場合、地域コンクールが作品の一部または全部を複製・WEBすることができます。当財団へ「利用申請書」をご提出ください。
- ・当財団は、編集責任を負いません。
- ・当財団は、地域コンクールが複製・公開・出版等を行う場合の費用は負担しません。
- ※随時ご相談を承ります。

#### ④全国コンクール入賞作品の二次利用(地域コンクールが複製・WEB公開する場合)について

- ・地域コンクールで複製冊子を作成する場合や、電子書籍を公開する場合は、公開の度合いに応じた権利処理が必要になります。

### 1. 個人情報の扱いについて

当財団は、作品管理をはじめとするあらゆる業務において、個人情報の取り扱いを必要とする場合がございます。皆さまからお預かりいたしました個人情報の安全性を確保することが最重要であると認識し、下記の方針に従って管理いたします。

#### 公益財団法人 図書館振興財団 個人情報保護方針

公益財団法人図書館振興財団(以下「当財団」とします)は、図書館振興事業に関与する機関・人材を助成・育成し、あわせて図書館の設立・運営に対する助成を行い、図書館事業及び図書館利用の健全な発展に対する支援を行い、もって国民の教育・文化に寄与することを目的とする財団です。

当財団の取得する個人情報は、この目的に沿って使用するもので、個人情報に関して適用される法規制、国が定める指針その他の規範について遵守するとともに、個人情報保護体制の運用の継続的な改善、向上に努めるものとします。

当財団は以下に示す個人情報保護方針を定めます。

1. 個人情報保護管理責任者を設定し、当財団の業務での個人情報の取り扱いについて適切に管理・指導いたします。
2. 個人情報を取得・利用および提供をおこなう場合は、あらかじめ明示した利用目的の範囲内で取得・利用および提供をおこないます。法令により例外として扱われるべき場合を除き、本人または未成年の場合は代理権を有する代理人の同意を得ずに第三者へ提供することはありません。
3. 当財団の管理下にある個人情報については不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等について、適切な防止および是正処置を実施いたします。また個人情報を第三者へ提供する場合は、当財団の規定と同様の適切な取り扱いがおこなわれるよう管理・監督いたします。
4. 当財団が管理する個人情報に関して、本人および代理権を有する代理人からの照会、苦情および相談に対し、窓口を公開し適切な対応を迅速におこないます。

2012年4月1日  
公益財団法人図書館振興財団

#### 業務上保有する個人情報の利用目的

公益財団法人図書館振興財団(以下「当財団」とします)が保有する個人情報は、わが国の図書館振興に尽くすことを目的として当財団が行う次の事業に利用します。

1. 図書館振興に対する助成
  - ・ 振興助成事業の運営のため
2. 図書館利用の促進
  - ・ 「図書館を使った調べる学習コンクール」の運営のため
  - ・ 友の会「図書館の学校」の運営のため
  - ・ 選書事業の運営のため
3. 図書館の活性化
  - ・ 機関誌の発行・配布のため
  - ・ 研修事業の運営のため
  - ・ 提案型助成事業の運営のため

その他、上記1～3の事業運営のために行う業務の達成のため(今後行うこととなる事項を含む)

### 2、調べコン特設サイト内 ★地域コンクール開催担当者管理画面について

★旧名称:地域コンクール支援サイト

- ・開催申請時に未定もしくは予定の場合は、決定次第情報の更新をお願いいたします。
- ・年度末に更新処理を行います。  
必要なデータは事前に別途保存をしておいてください。
- ・2025年度の地域コンクール開催申請は2025年4月より受付予定です。  
詳細は『第29回（2025年度）「地域コンクール」開催の募集』をご確認ください。  
（継続の場合も申請をお願いいたします）



■ 提出期限一覧 ■

- 11月 7日（木） 「応募数集計表」・「推薦作品一覧」  
提出期限（データ）
- 11月15日（金） 推薦作品 必着
- 11月30日（土） 地域コンクール実施報告書入力・資料提出期限

**【お問合せ・相談先】**

公益財団法人図書館振興財団 <https://www.toshokan.or.jp>

〒112-0002 東京都文京区小石川5-2-2  
明日香ビル7階

TEL : 03-3868-8745

FAX : 03-3868-8744

**「図書館を使った調べる学習コンクール」**

メール : [contest@toshokanshinko.or.jp](mailto:contest@toshokanshinko.or.jp)

担 当 : 鈴木・柏原・植村・出光